

2009年は 衆議院総選挙 日本でも「チェンジ!」が起きます。 皆さんがその主役です。

茨城4区
高野まもる
元国会議員秘書、
三浦杉吉田八幡神社主
岡田克也が応援に

茨城5区
おおはた章宏
衆議院議員、
ネクスト金融担当大臣
大島幸宏さんを助けます

茨城2区
いしづ政雄
元大洋村村長
鳩山由紀夫が応援に

茨城6区
大泉ひろこ
元厚生労働省課長、
元山口県副知事
大泉ひろこを応援する会

茨城3区
小泉としあき
前衆議院議員
茨城県医師連盟原中勝征委員長と
茨城南部郵政研大川信一郎会長が応援に

茨城1区
福島 のぶゆき
元内閣官房参事官補佐
菅直人が応援に

茨城7区
やなぎた和己
元富士銀行支店長、
フットサル場オーナー
岡田克也が応援に

民主党からの
お知らせ

★ 党員・サポーターを募集中！

2009年度の党員・サポーターの登録受付を開始しております。多くの皆様の登録をお待ちしております。

◆ 党員 : 党費 6,000円

◆ サポーター : 会費 2,000円

党員の方には、民主党の広報誌「プレス民主」(月2回発行)が送付されます。

事務所連絡先

◆ 藤田幸久茨城事務所

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600-41-2階
TEL.(029)-297-8222 FAX.(029)-297-8221

◆ 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館205号室
TEL.(03)-3508-8205 FAX.(03)-5512-2205

☆ 寄付金・カンパをお願いします ☆

常陽銀行 平須支店 普通預金 1293999
口座名義
民主党茨城県参議院選挙区第3総支部
代表 藤田幸久

ふじた 幸久 氏プロフィール

- ◆ 1950年 日立市生まれ。
- ◆ 日立市二葉幼稚園・会瀬小・茨城大学附属中・水戸一高・慶応大学卒。
- ◆ 難民を助ける会と国際MRAなどで45ヶ国を訪問。世界各地でボランティア活動。
- ◆ 1996年～衆議院議員当選2回(東京比例区・東京12区)、民主党国際局長などを務める。
- ◆ イラク日本人質事件やスマトラ沖津波で、現地に飛び支援活動。
- ◆ 2007年参議院議員当選(茨城選挙区) 守屋前事務次官や田母神前空幕長の防衛省問題やクラスター爆弾禁止条約などに取り組む。
- ◆ 現在、民主党ネクスト防衛副大臣、聖学院大学非常勤講師。

少人数でも「国政報告」「国会見学」をお受けします。お気軽にお申し込み下さい。



2008.12.10
民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)

号外

【発行人】【民主党茨城県参議院選挙区第3総支部版】
〒310-0852
茨城県水戸市笠原町600-41 2F
電話 029-297-8222 FAX 029-297-8221
E-mail info@y-fujita.com http://www.y-fujita.com



参議院外交防衛委員会理事、民主党ネクスト防衛副大臣

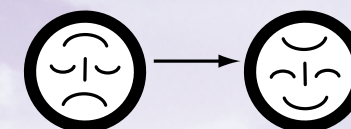
ゆき ひさ

泣く政治から

笑う政治へ

ふじた幸久

特集号



来年、日本でも「チェンジ!」が起きます。皆さんがその主役です。

皆さん、今年も一年間大変お世話になりました。昨年の参議院選挙で皆さんから議席を頂いて以来1年半がたちました。今年も様々な問題で注目を浴びた参議院外交防衛委員会の理事として国会での活動を精一杯させて頂きました。今年も国会が年末まで延長され、新年早々国会が再開しますので、年末年始のご挨拶に充分参上出来ませんことをお詫びし、この国会レポートを送らせて頂きます。2009年は政権交代の総選挙の年となります。更なるご支援をお願いし、皆様にとって良いお年であることを心からお祈り申し上げます。

藤田 幸久

「参議院外交防衛委員会で、麻生首相に質問 (NHK中継入り)」



在日米軍基地なくしてアフガニスタン戦争とイラク戦争なし

私は11月13日の参議院外交防衛委員会で、新テロ特別措置法改正案および田母神前航空幕僚長発言による文民統制問題に関して、麻生首相などに質問しました。

私は、「オバマ米国大統領候補大勝の最大の功労者はブッシュ大統領」という説を紹介し、8年間の戦争主導の政治に対する米国民のノーの意思表示ではないかと指摘しました。

そして「テロとの戦い」という言葉に乗って米国に

追従した日本外交の大きな転換が必要ではないかと質しました。この間、在日米軍基地がアフガニスタン戦争とイラク戦争の出撃基地の中核を担い、「在日米軍基地なくしてアフガニスタン戦争とイラク戦争なし」となっている実態を指摘しました。これに対し麻生総理は「在日米軍基地は、日本と極東の平和と安全維持の目的が大前提で、それ以外の任務に有して移動することは、条約上に問題があるわけでもない」と答弁しました。「基地から飛び立った後は、どこに飛んで行こうと関知しない」と言う従来の日本政府の理屈です。殺されている何十万人もの無実の市民に対して、面と向かってこんなことが言えるのでしょうか？

「専守防衛だけではなく、攻撃を考えねば」という田母神前空幕長

私は田母神前空幕長が、統合幕僚学校長時代の平成16年から、空幕の機関紙「鵬友」の各誌に、以下のことを書いていたことを取り上げました。

・「専守防衛だけでは効果的な防御態勢は出来ないので、攻撃を考えなければならない」

活動報告

- ・「新しい歴史教科書のような本などをみんなで買いきり、経費も含めて個人的に支援するという意識を自衛隊員が持つべきだ」
- ・「部内の雑誌への投稿に止まることなく、正論、諸君、Voice、This is 読売などに論文を投稿し外に打って出ることが大事だ」

更に、平成4年に防衛省教育訓練局長が「鵬友」などに、専守防衛、文民統制、非核三原則といった基本的防衛政策を逸脱するようなものが入っていれば、自衛官としてふさわしくない行為であり、論文のチェックをすると答弁していることを指摘しました。

これに対して浜田防衛大臣は、専守防衛に対しての不適切な発言は極めて問題であり、また組織としてのチェックが不備であったことは認めましたが、懲戒免職ではなく定年退職とした今回の処分は、妥当であると主張しました。元々懲戒処分する意志はなく、結局7千万円ほどの退職金を支払うことになってしまったのです。

その後、田母神氏は統合幕僚学校長当時、職権で歴史教育の講座を新設し、上記の新しい歴史教科書の関係者を多数講師として招き、自衛隊の幹部教育を行っていたことも判明しています。

麻生首相は、防衛相に対し、隊員の監督、教育のあり方についての再発防止、再教育に万全を期すよう指示していると明言しました。また、文民統制との関係について「そのような状況を長年見過ごしていたのは問題」と責任を認めながらも、それが直ちに（米国の議会関係者が危惧しているような）クーデターには繋がらないと述べました。

私は「今回の問題は行政府の人間が立法府に逆らい、その主張を自衛隊内で言論活動として展開し、そのことを誰もチェックせずに結果として航空自衛隊のトップにしてしまったという、戦前に経験したことと極似した文民統制の危機である」と述べました。そして任命権者としての防衛大臣、及び内閣の責任を指摘して、質問を終えました。

「本会議質問 ～テロ被害者家族への救済を官房長官が約束～」



10月22日の参議院本会議で、新テロ対策特別措置法改正案に対する代表質問を行いました。

私は、テロ撲滅作戦の名の下に無実の市民を大量に巻き添えにする『ブッシュ大統領による戦争』が、『長期的には3兆ドルの財政的・経済的コストを世界にもたらしている』というノーベル経済学賞のスティグリッツ教授の著作を紹介し、こうした政治の幕引きを図ることこそ日本の責務と訴えました。

次に私は「日本政府はテロとの戦いに自衛隊を派遣する理由に『9・11同時多発テロで日本人24名が犠牲になった』と常に強調するが、そのご家族への支援がほとんどされていない」と指摘しました。そして、「家族の皆さんは、拉致問題では政治家が動いたが、9・11に関してはだれも全く動いていない、拉致家族は忘れられないが、9・11被害者家族は無視されているとの強い思いをお持ちです」と河村健夫官房長官に訴えました。これに対し、長官は「海外でのテロ被害者については、当該テロ事件を指定した特別措置法を迅速に制定することなどの対応が考えられますが、具体的事案に応じた必要な救済措置が検討されるべきものと考えます。」と前向きな答弁を行いました。そして、その日の記者会見で、「現在、国内では犯罪に巻き込まれた場合に本人や家族に国が給付金を支給する制度があるが、国外での犯罪は対象外だ。検討をすべきだ」と思ひ、早急に検討に入るよう（内閣府に）指示した」と述べました。

やっと7年経って山が動き始めました。

アフリカへ毛布を送る運動

8月2日、わたくしも1984年の立ち上げに関わった「アフリカへ毛布を送る運動」（森繁久弥代表）に取り組んでいる取手市の市民団体の子ども向けの学習会に、駐日マラウイ大使をお呼びしました。



参議院ODA（政府開発援助）調査団

8月下旬。南太平洋のツバルは「海面上昇による沈み行く島」と報道されていますが、今回の調査で、その実態が大きく異なることが判明しました。第二次大戦中の米軍滑走路建設のための大量の土砂の採取、過剰な人口流入、排水汚染などによる環境破壊、海流の変化などの社会的理由が挙げられます。



海面上昇で倒されたとよく報道されるヤシの木



しかし、反対側は砂が増え新しいヤシの木が育っている。

茨城県老人クラブ大会

9月5日、水戸市で開催された茨城県老人クラブ大会に参加させて頂きました。



古河駐屯地54周年記念式典



9月14日、古河市の陸上自衛隊古河駐屯地創立54周年・第1施設団創設47周年記念式典に出席しました。

茨城県医師連盟が民主党候補7人を推薦決定 ～次期衆院選で～

10月1日、後期高齢者医療制度に反対する茨城県医師連盟（原中勝征委員長）は県内7小選挙区全てで民主党候補の推薦を決定し、各候補者へ推薦決定書が手渡されました。



民主党政治スクールで講義



10月11日、民主党茨城県連政治スクールで講義をしました。今年受講生は第3期生になります。受講生数名が市議会議員として活躍しています。

来日中の ダライ・ラマ14世 と会談

11月2日、ダライ・ラマ14世との懇談会に出席しました。既に数回お会いしています。



都市計画道路稲荷町線開通記念セレモニー



11月8日、筑西市の下館駅と国道50号線とを結ぶ都市計画道路稲荷町線の完成式典が行われました。

連合茨城中央地域協議会・県南地域協議会で定期大会



11月18日、連合茨城の中央地域協議会と県南地域協議会が開催され、議長が、中央地域協議会では鈴木博久さんから赤上正明さんへ、県南地域協議会では藪原敏更さんから海老原宏治さんへと交代となりました。

水戸一高創立130周年記念式典



11月22日、母校水戸一高の創立130周年を祝う記念式典が水戸市内で開かれました。

水戸歩兵第二聯隊・ペリリュー島守備部隊戦没者慰霊祭

11月24日、茨城県護国神社で開催された水戸歩兵第二聯隊・ペリリュー島守備部隊戦没者慰霊祭に出席しました。右から二人目は秋山信一会長。

